

# 平成 1 4 年度診療報酬改定対応（レセプト）

日医標準レセプトソフト

平成14年 4 月 1 9 日第 1 版

	改 正 内 容	改 正 対 応																																				
処置 手術	<p>ア 処置又は手術については、（以下省略）</p> <p>イ 消炎鎮痛等処置については、所定点数の 1 0 0 分の 5 0 に相当する点数により算定する場合は、「摘要」欄に、器具等による療法の場合は、減器 と、湿布処置（半肢の大部又は頭部、頸部及び顔面の大部以上にわたる範囲のもの）の場合は、減湿イ と、湿布処置（半肢の大部又は頭部、頸部及び顔面の大部以上にわたる範囲のもの以外のもの）の場合は、減湿口 と表示し、逡減した点数を算定した回数を記載すること。</p> <p>ウ 麻酔等（麻酔に伴う前処置を含む。）に伴って薬剤を使用した場合は、～ 省略 ～ また、処置等に伴って使用した酸素又は窒素の費用を請求する場合は、地方社会保険事務局に届け出た単価（単位 円・銭）（酸素のみ）及び当該請求に係る使用量（単位 リットル）を「摘要」欄に、手術等において特定保険医療材料等を使用した場合は、「摘要」欄にそれぞれ以下のように記載すること（酸素について、複数の単価で請求する場合は、単価ごとに、単価及び使用量を記載すること。）</p> <p>a 手術、処置、検査等の名称は（以下省略）</p> <p>b 手術、処置、検査等の手技料については（以下省略）</p> <p>c 材料は商品名及び告示の名称（以下省略）</p> <p>d 保険医療機関におけるの購入価格（以下省略）</p> <p>e 処置、手術等の名称、手技の加算、薬剤、特定保険医療材料等の順に処置、手術等ごとに記載すること。</p> <p>〔記載例〕</p> <p>例 1 手術以外に使用された特定保険医療材料等</p> <table> <tr> <td>処置名</td><td>人工腎臓</td><td></td></tr> <tr> <td>手技の加算</td><td>導入期加算</td><td>2 , 2 6 0 × 1</td></tr> <tr> <td>薬剤料</td><td>使用薬剤</td><td>点数 × 1</td></tr> </table>	処置名	人工腎臓		手技の加算	導入期加算	2 , 2 6 0 × 1	薬剤料	使用薬剤	点数 × 1	<p>「消炎鎮痛等処置」については次のとおり表示を行う</p> <p>&lt; 例 1 &gt; 器具等による療法を 5 回行った場合</p> <table> <tr> <td>* 消炎鎮痛等処置（器具等による療法）</td><td>3 5 ×</td><td>4</td></tr> <tr> <td>* 消炎鎮痛等処置（器具等による療法）</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>消炎鎮痛等処置（5 回目以降）逡減</td><td>1 8 ×</td><td>1</td></tr> </table> <p>&lt; 例 2 &gt; 器具等による療法を 3 回と湿布処置 1 を 3 回行った場合</p> <table> <tr> <td>* 消炎鎮痛等処置（器具等による療法）</td><td>3 5 ×</td><td>3</td></tr> <tr> <td>* 消炎鎮痛等処置（湿布処置 1 ）</td><td>3 5 ×</td><td>1</td></tr> <tr> <td>* 消炎鎮痛等処置（湿布処置 1 ）</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>消炎鎮痛等処置（5 回目以降）逡減</td><td>1 8 ×</td><td>2</td></tr> </table> <p>「人工腎臓」については、次のとおり表示を行う</p> <p>月の 4 回目以降の再診時に人工腎臓を実施した回数を記載する 実施した回数を表示するため、レセプト作成処理の中で次のレコードを作成する コメントコード：810000001 名称：再診 4 回目以降実施回数 回 の部分に該当する回数を編集する</p> <p>&lt; 例 &gt; 人工腎臓を再診 4 回目以降に 2 回を含めて当月 4 回行った場合</p> <table> <tr> <td>* 再診 4 回目以降実施回数</td><td>2 回</td><td></td></tr> <tr> <td>* 人工腎臓 1</td><td>1 9 6 0 ×</td><td>4</td></tr> </table>	* 消炎鎮痛等処置（器具等による療法）	3 5 ×	4	* 消炎鎮痛等処置（器具等による療法）			消炎鎮痛等処置（5 回目以降）逡減	1 8 ×	1	* 消炎鎮痛等処置（器具等による療法）	3 5 ×	3	* 消炎鎮痛等処置（湿布処置 1 ）	3 5 ×	1	* 消炎鎮痛等処置（湿布処置 1 ）			消炎鎮痛等処置（5 回目以降）逡減	1 8 ×	2	* 再診 4 回目以降実施回数	2 回		* 人工腎臓 1	1 9 6 0 ×	4
処置名	人工腎臓																																					
手技の加算	導入期加算	2 , 2 6 0 × 1																																				
薬剤料	使用薬剤	点数 × 1																																				
* 消炎鎮痛等処置（器具等による療法）	3 5 ×	4																																				
* 消炎鎮痛等処置（器具等による療法）																																						
消炎鎮痛等処置（5 回目以降）逡減	1 8 ×	1																																				
* 消炎鎮痛等処置（器具等による療法）	3 5 ×	3																																				
* 消炎鎮痛等処置（湿布処置 1 ）	3 5 ×	1																																				
* 消炎鎮痛等処置（湿布処置 1 ）																																						
消炎鎮痛等処置（5 回目以降）逡減	1 8 ×	2																																				
* 再診 4 回目以降実施回数	2 回																																					
* 人工腎臓 1	1 9 6 0 ×	4																																				

# 平成14年度診療報酬改定対応（レセプト）

日医標準レセプトソフト

平成14年4月19日第1版

	改 正 内 容	改 正 対 応
	<p>特定保険医療材料〔商品名〕ホローファイバー型高性能ダイアライザー 1.4㎡          （ホローファイバー型（1.5㎡未満（ ））3,090円）          309×1</p> <p>例2 手術に使用された特定保険医療材料          （1） 特定保険医療材料〔商品名〕          ペースメーカ（シングルチャンバ（I型） 1,270,000円） 127,000×1          （2） 特定保険医療材料〔商品名〕          輸血用血液フィルター（微小凝集塊除去用）2,970円）          297×1</p> <p>f 「特定保険医療材料の材料価格算定に関する留意事項について」（平成14年3月18日保医発第0318003号）Iの3の（29）のウ、同3の（38）のイ及び同3の（42）に該当する場合には、所定の事項を「摘要」欄に記載すること。また、同通知の に規定する略称を使用しても差し支えないこと。</p> <p>g 酸素の費用に係る請求については、地方社会保険事務局長に届け出た液化酸素（CE、LCG）、酸素ボンベ（大型、小型）の酸素区分、単価、当該請求に係る使用量及び補正率を以下の例により記載すること。          〔記載例（単価0.20円の場合の酸素購入価格）〕          処置名 酸素吸入 65×1          酸素の加算（液化酸素CE） 8×1          （届け出た単価） （使用量） （補正率）  <math>(0.20円 \times 300 \text{リットル} \times 1.3) \div 10 = 8 \text{点}</math>          （注）（ ）において端数整理を行った後、10円で除して再度端数整理を行うこと。</p>	<p>施設基準不適合の場合逡減される手術については次のとおり表示を行う</p> <p>&lt;例1&gt;角膜移植術を行った場合（実施日12日）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>*手術 12日              角膜移植術              施設基準不適合（手術）（100分の70）              21420× 1</p> </div> <p>&lt;例2&gt;角膜移植術と同時に白内障手術を行った場合（22日）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>*手術 22日              角膜移植術              施設基準不適合（手術）（100分の70）              白内障手術（超音波摘出術）              2以上の手術の50%併施加算 25135× 1</p> </div> <p>&lt;例3&gt;角膜移植術と同時に眼筋移植術を行った場合（16日）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>*手術 16日              角膜移植術              施設基準不適合（手術）（100分の70）              眼筋移植術              施設基準不適合（手術）（100分の70）              2以上の手術の50%併施加算 25760× 1</p> </div>

# 平成 1 4 年度診療報酬改定対応（レセプト）

日医標準レセプトソフト

平成14年 4 月 1 9 日第 1 版

	改 正 内 容	改 正 対 応
	<p>ウ 処置の手技料を包括する（以下省略）</p> <p>エ 輸血を行った場合は、（以下省略）</p> <p>オ 時間外加算、休日加算、（以下省略）</p> <p>カ 処置の新生児・乳児・乳幼児（以下省略）</p> <p>キ HIV抗体陽性の患者に（以下省略）</p> <p>ク 内視鏡使用による手術料の加算を算定した場合は、当該手術名を当該欄に記載し、「摘要」欄は内視鏡使用による加算である旨の（内）を表示すること。</p> <p>ケ 人工腎臓について入院中の患者以外の患者に対して「その他の場合」として算定した場合は、その理由を「摘要」欄に記載すること。また、月の 4 回目以降の再診時に人工腎臓を実施した場合は、「摘要」欄に、4 回目以降の再診時に実施した人工腎臓の回数を記載すること。</p> <p>なお、人工腎臓について導入期加算を算定した場合は、加算して得た点数を点数欄に記載し、「摘要」欄に導入の年月日を記載すること。</p> <p>また、障害者加算を算定した場合は、当該加算を加算した点数を点数欄に記載し、「摘要」欄に（障）と表示の上、その理由を記載すること。</p> <p>コ 生体腎を移植した場合においては（以下省略）</p> <p>サ 連続携帯式腹膜灌流について（以下省略）</p> <p>シ 1 8 0 日を越える期間通算対象入院料を算定している患者であって厚生労働大臣が定める状態にあるもの（平成 1 4 年 3 月厚生労働省告示第 88 号第 4 号トに該当する患者）について胸腔穿刺又は腹腔穿刺を算定した場合は、「処置」欄に 洗浄 と表示して回数及び合計点数を記載し、「摘要」欄に処置名を記載すること。また、重度の肢体不自由者及び人工腎臓を実施している状態にある患者（同告示第 4 号ニ又はリに該当する患者）については、「摘要」欄に、「障害老人の日常生活自立度（寝たきり度）判定基準」の活用について（平成 3 年 1 1 月 1 8 日老健第 1 0 2 - 2 号）におけるランクを記載すること。</p>	

# 平成 1 4 年度診療報酬改定対応（レセプト）

日医標準レセプトソフト

平成14年 4 月 1 9 日第 1 版

	改 正 内 容	改 正 対 応
	<p>ス 複数手術を同時に行った場合は、（以下省略）</p> <p>セ 熱傷に対する処置を算定（以下省略）</p> <p>ソ 熱傷温浴療法を算定（以下省略）</p> <p>タ 干渉低周波による（以下省略）</p> <p>チ 埋込型除細動器移植術を算定（以下省略）</p> <p>ツ 麻酔管理料を算定した場合は、（以下省略）</p> <p>テ 血漿交換療法又は血球成分除去療法を（以下省略）</p>	